

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成23年10月13日(2011.10.13)

【公開番号】特開2010-258464(P2010-258464A)

【公開日】平成22年11月11日(2010.11.11)

【年通号数】公開・登録公報2010-045

【出願番号】特願2010-140736(P2010-140736)

【国際特許分類】

H 01 L	29/06	(2006.01)
H 01 L	21/331	(2006.01)
H 01 L	29/73	(2006.01)
H 01 L	29/786	(2006.01)
H 01 L	21/336	(2006.01)
H 01 L	51/05	(2006.01)
H 01 L	21/8242	(2006.01)
H 01 L	27/108	(2006.01)
H 01 L	21/8247	(2006.01)
H 01 L	27/115	(2006.01)
H 01 L	29/788	(2006.01)
H 01 L	29/792	(2006.01)
H 01 L	27/11	(2006.01)
H 01 L	21/8244	(2006.01)
H 01 L	27/28	(2006.01)
H 01 L	31/10	(2006.01)

【F I】

H 01 L	29/06	6 0 1 B
H 01 L	29/72	
H 01 L	29/78	6 2 6 Z
H 01 L	29/78	6 2 7 Z
H 01 L	29/28	1 0 0 A
H 01 L	27/10	6 7 1 Z
H 01 L	27/10	6 6 1
H 01 L	27/10	4 3 4
H 01 L	29/78	3 7 1
H 01 L	27/10	3 8 1
H 01 L	27/10	4 4 9
H 01 L	31/10	Z
H 01 L	29/78	6 1 8 C
H 01 L	29/78	6 1 7 K
H 01 L	29/78	6 1 7 S
H 01 L	29/78	6 1 6 T

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月26日(2011.8.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

原料容器の射出孔から原料を射出し、

長手方向垂直断面内に複数の領域を有し、該複数の領域に、回路素子を形成し、

長手方向に連続的にあるいは間欠的に糸状に形成した線状素子を作製し、前記線状素子を複数束ねて形成することを特徴とする集積装置の製造方法。

【請求項 2】

原料容器の射出孔から原料を射出し、

長手方向垂直断面内に複数の領域を有し、該複数の領域に、回路素子を形成し、

長手方向に連続的にあるいは間欠的に糸状に形成した線状素子を作製し、前記線状素子を複数織り込んで、又は編み込んで形成することを特徴とする布地状体の製造方法。

【請求項 3】

原料容器の射出孔から原料を射出し、

長手方向垂直断面内に複数の領域を有し、該複数の領域に、回路素子を形成し、

長手方向に連続的にあるいは間欠的に糸状に形成した線状素子を作製し、前記線状素子を複数織り込んで、又は編み込んで形成されたことを特徴とする衣服の製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

請求項 1 に係る本発明は、原料容器の射出孔から原料を射出し、長手方向垂直断面内に複数の領域を有し、該複数の領域に、回路素子を形成し、長手方向に連続的にあるいは間欠的に糸状に形成した線状素子を作製し、前記線状素子を複数束ねて形成することを特徴とする集積装置の製造方法である。

請求項 2 に係る本発明は、原料容器の射出孔から原料を射出し、長手方向垂直断面内に複数の領域を有し、該複数の領域に、回路素子を形成し、長手方向に連続的にあるいは間欠的に糸状に形成した線状素子を作製し、前記線状素子を複数織り込んで、又は編み込んで形成することを特徴とする布地状体の製造方法である。

請求項 3 に係る本発明は、原料容器の射出孔から原料を射出し、長手方向垂直断面内に複数の領域を有し、該複数の領域に、回路素子を形成し、長手方向に連続的にあるいは間欠的に糸状に形成した線状素子を作製し、前記線状素子を複数織り込んで、又は編み込んで形成されたことを特徴とする衣服の製造方法である。